

地域の概要



さつま町は鹿児島県の北西部に位置しており、平成17年3月に旧宮之城町、旧鶴田町、旧薩摩町が合併しました。

よりあい処「幸」がある紫尾下公民会は、町の北部（旧鶴田町）の紫尾区にあります。

【紫尾下公民会】
全体人口/176人（高齢化率：50%）



取組のきっかけ

平成28年3月、北さつま農協紫尾出張所が閉鎖し、皆が気軽に立ち寄り、立ち話のできる拠り所が減った。その農協跡地のすぐ隣に空き店舗（元商店）があった。持ち主の方が居場所づくりの趣旨を理解してくださり、使用許可をくださった。そのため、H30年度に支え合いマップづくりを開催し、民生委員さんから居場所づくりの提案を行い、公民会でやってみようということになった。

取組の目的

- 見守りがかねてのコミュニティづくり
- 閉じこもりがちな高齢者の外出のきっかけ（交流の場）
- ころばん体操の実施
- オレンジカフェ実施・チームオレンジ活動。



これまでの経緯

年・月	出来事
平成30年度	支え合いマップづくりの開催。
令和元年7月～11月	住民にて、空き店舗の片づけ。
令和2年3月	居場所づくりの開所に向けての話し合い。よりあい処「幸」と名前も決定。
令和2年11月1日	よりあい処「幸」の開所。

活動の概要

空き店舗を活用した場所に地域住民の方々が集まり、ころばん体操やレクリエーション、オレンジカフェ（お茶飲み）などを実施している。地域の在宅介護支援センターにも運営協力をいただき、介護相談などにも対応してもらっている。

〔頻度・利用人数・利用者負担〕

- 毎週月曜日、第1・第3水曜日に開催。
- 平均20人程度が参加している。
- 利用料金は1回200円。

〔活動に関わった人・団体〕

生活支援コーディネーター（社会福祉協議会）、市町村、在宅介護支援センター、公民会長、民生委員、地域住民

取組における行政担当者・生活支援コーディネーターとしての役割

〔行政担当者としての役割〕

- 活動における補助金交付
- SCとの情報共有

〔SCとしての役割〕

- 活動における相談受付
- 社協広報誌での活動紹介
- 活動の内容についての紹介DVDの作成
- 運営協力員との情報交換



現時点での到達点（効果・課題など）

〔効果〕

参加されている方々から「楽しみが増えた。」「生きがいだ。」という声を聞く。参加者が、自分のためによりあい処「幸」に行くんだと目的意識を持つことできている。

〔課題〕

男性の方も参加しやすい居場所づくり